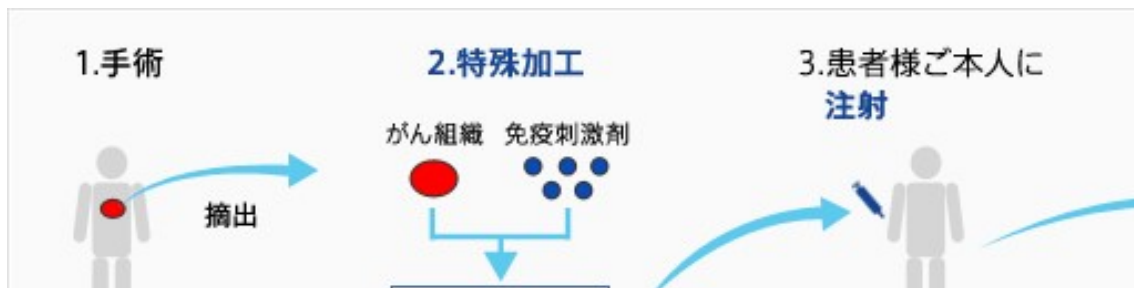




## 自家がんワクチン療法について

2024.08.27 v4.0

がん免疫治療にはたくさんの種類がありますが、「**自家がんワクチン療法**」は、がんの手術で取り出した患者さま本人のがん組織を使い、独自の技術で患者さま個人専用のがんワクチンに加工して投与する、**オーダーメイドのパーソナルながん免疫療法**です。



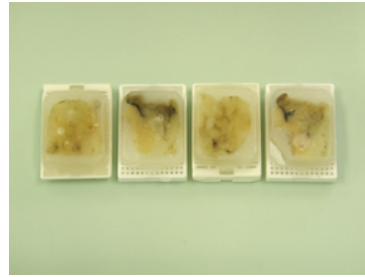
自家がんワクチン療法は、がんの術後再発予防、転移防止、残存がん治療を目的としたもので、がん細胞を特異的に攻撃する免疫細胞（細胞傷害性Tリンパ球）を体内で誘導することが可能です。化学療法とは異なり強い副作用がないため、高いQOLを維持できます。すでに肝細胞がんでは、アカデミックレベルながらランダム化比較対照臨床試験を実施しており、術後の再発抑制効果および延命効果があることを、統計学的有意差をもって証明しております（*Clinical Cancer Research*, 10, 1574-1579, 2004）。

また、治療が大変困難とされている脳腫瘍・神経膠芽腫（グレードIV）に対しては、12例中CR（完全寛解）1例、PR（部分寛解）1例、MR（一部縮小）2例、NC（不変）1例、PD（進行）7例が確認されており（*Cancer Science*, 98:1226-1233, 2007）、CR例では18年経過時点でも再発なしとの結果を得ております。消化器がん、乳がん、その他のがんにつきましても、自家がんワクチン単独、あるいは放射線、低用量抗がん剤との併用で、転移巣の消失や腫瘍マーカーの減少等の有効性を示唆する症例が多数報告されております。

これまで4000例以上の投与実績がありますが、副作用として報告されているものは、注射部位の発赤腫脹、一過性発熱等となっており、重篤な副作用はわずか2例を除き、ありません。その2例はCTCAE grade 3の「注射部位の腫れに伴う疼痛」で特段の治療の必要なく治癒しております。



Cell-Medicine, Inc.  
Sengen 2-1-6-C-B-1, Tsukuba-shi, Ibaraki 305-0047, Japan  
セルメディシン株式会社  
〒305-0047 つくば市千現 2-1-6-C-B-1  
Tel: 029-828-5591, FAX: 029-828-5592、ホームページ: <http://www.cell-medicine.com/>



自家がんワクチンは、**がん組織部位のみ**を集めて**およそ2g**以上あれば、上図のような**パラフィン包埋ブロック**（できれば3～4個以上）から約1週間で作製することができます。また、ワクチン接種（原則として2週間間隔で3回）は外来通院が可能で、問診および前後の検査を含めても6週間と4日の治療期間で済みます。3回ワクチン接種後の検査を省略した場合は4週間と3日で終了します。脳腫瘍の膠芽腫のように、急速にがんが進行する場合は、1週間や10日間隔の接種に変更することも可能です。

弊社は、独立行政法人・理化学研究所の研究成果を基に、その臨床応用を目的として2001年に創立されたベンチャー企業です。自家がんワクチンについては、東京女子医科大学・筑波大学など13大学と共同で臨床試験を行っております。また、京都・武田病院グループをはじめ、総合病院を含む全国80以上の医療機関で採用されており、そこでは保険診療との混合診療にならないように体制をしっかりと整備した上で、自由診療ベースでがん治療が行われております。

自家がんワクチン療法に関するご質問がございましたら、お手数ですが弊社までご連絡願います。

セルメディシン株式会社

代表取締役社長

American Society of Clinical Oncology 名誉会員

薬学博士 大野 忠夫

Tel: 029-828-5591

FAX: 029-828-5592

E-mail: [tkb-lab@cell-medicine.com](mailto:tkb-lab@cell-medicine.com)